


令和6年度 地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	もりもと としお	
氏名	森本 登志男	
所属・役職	旭川市 最高デジタル責任者 (CDO) キャリアシフト株式会社 代表取締役 元佐賀県庁 最高情報統括監 (CIO)	
活動拠点	東京を拠点に、九州から北海道まで、多くの地域からの招聘を受け、テレワークの導入支援、地域創生の仕組みづくり、観光事業などに携わっている	
略歴	<p>1995年 マイクロソフト株式会社に入社。Office のマーケティング、米国本社駐在などを経て、2003年 から事業開発室長として、「ICT とマーケティング手法を活用した」地域活性化を支援。</p> <p>2004年～ 徳島県上勝町で、ICT 利活用による産業振興と後継者の確保に取り組み、若者層を中心とした移住者や交流人口の増大に貢献。約 5 年にわたるこの取り組みが評価され、2010 年に上勝町から感謝状授与。</p> <p>2008年～ 総務省 地域情報化アドバイザーの委嘱を受け、16 年間延べ 88 箇所の派遣依頼を受け、それぞれの地域にて講演や委員会のアドバイザーなどを担当。現在も継続中。</p> <p>2016年～ 総務省 テレワークマネージャーの委嘱を受け、8 年間の派遣回数は 116 回に及ぶ。(2024 年 4 月現在)</p> <p>2011年～ 5 年間にわたり、佐賀県の最高情報統括監(CIO)として地方自治体の常勤職員を経験。この間、地方行政の現場での ICT 利活用に取り組み、2014 年から県庁の全職員(約 4000 人)を対象としてテレワークを導入するなどの成果を上げる。</p> <p>2015年～ 内閣府公共サービス・イノベーションプラットフォーム外部有識者。</p> <p>2017年 テレワークが拓く将来像を提案した著書『あなたのいるところが仕事場になる』を上梓し、キャリアシフト株式会社を創設。</p> <p>2019年 G20 観光大臣サミット・官民セッション モデレーター。</p> <p>2022年～ 北海道旭川市にて最高デジタル責任者(CDO)として行政と地域のDX推進をリードしている。(現職)</p> <p>2023年～ 総務省 経営・財務マネジメント強化事業アドバイザーの委嘱を受け、初年度は派遣依頼を受けた1箇所の支援を実施。</p> <p>2023年～ 北海道稚内市、東京都北区にてDX推進アドバイザーとして行政と地域のDX推進支援を行っている。</p>	

	現在、多くの自治体や企業に向けて、テレワーク導入支援・コンサルティングを行うだけでなく、地方創生の分野においても、地域活性化に向けたプロジェクトや観光事業に携わっている。	
地域情報化の 専門分野・技術	テレワーク、働き方改革 地方自治体の ICT を用いた経営改革 地場産品発掘・ブランド化 サテライトオフィスなどでの企業立地促進定住促進 観光振興・交流・チャットボット 街なか再生・にぎわい創出	
専門分野	計画策定支援（地域情報化計画・官民データ計画・自治体 DX 推進計画等） 人材（DX 推進のための機運の醸成） 人材（DXに関する知識習得・研修・育成） 人材（外部人材活用） 自治体システムの標準化・共通化 行政手続オンライン化 自治体システム調達/地域情報プラットフォーム デジタルデバйд対策 働き方テレワーク RPA導入 医療・介護・健康 農林水産業 地域ビジネス スタートアップ支援（起業支援） 観光 スマートシティ ICT 活用広報	
自治体向けメッセージ	東京での民間企業勤務と、地方での自治体職員としての勤務経験から、「東京と地方」・「民間企業と行政」という、それぞれ大きなギャップのある立場を熟知し、実効性のある地域課題の解決に取り組んでいます。これまで携わってきた事例を紐解きながら、それぞれの地域の持つ力を発揮するお手伝いをしてまいります。	
関連サイト	https://www.careershift.jp/	
地域情報化に関する実績	これまでの経験業務・研究活動	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロソフト株式会社での製品マーケティング・自治体営業・地域活性化支援。 ・佐賀県庁での地方行政における ICT 利活用。（県庁業務の全分野） ・地方自治体に対して、情報政策・情報発信・働き方改革・ブランディングなどの分野で、非常勤職員・外部アドバイザー・委員などの形で関わり、戦略策定や効果的な実践に向けての助言。直接、事業推進にあたることも。 ・地域の各種団体から、地域創生・街なか活性化・働き方改革などのテーマで、委員会への参加や講演・セミナーの依頼を受けて、各地域の課題解決にあたる。 ・企業から、働き方改革推進の支援依頼を受けて、現状の業務分析・テレワークの導入の支援を行っている。 ・従来の雇用形態では働くことが難しかった方々に対して、テレワークを用いて活躍の場が広がる、雇用主・働き手の両面に向けた啓発活動と、実践の場の創出を行っている。 ・著書「あなたのいるところが仕事場になる～「経営」「ワークスタイル」「地域社会」が一変するテレワーク社会の到来～」（大和書房）
	これまでに 関与した地 域情報化に 関するプロ ジェクト	<ul style="list-style-type: none"> ・2004～09年 徳島県上勝町の ICT 戦略の立案と実践。 ・2008年～現在 総務省地域情報化アドバイザーの委嘱による派遣実績 88 箇所 ・2011～16年 佐賀県最高情報統括監(CIO)としてシステム関連予算の大幅削減 この間、 2015年 政策へのデータ利活用推進の仕組みを創出し 2016年に「第1回総務大臣賞」受賞 2014年 佐賀県庁の約4000人の全職員を対象としたテレワークの導入 2013年「恋するフォーチュンクッキー 佐賀県庁 Ver. [AKB48 公式]」の動画配信により 230万再生を得るとともに、追随する自治体や企業が続出す

る全国的なムーブメントに発展。都道府県ブランド力調査において、万年46位の佐賀県を43位に引き上げる。

- ・2015年度九州総合通信局長賞 受賞(個人)
- ・2012年佐賀県鹿島市において「鹿島酒蔵ツーリズム®」の起ち上げに参画。2018年には集客数が当初の約3倍、約9万人のイベントに成長した。
- ・2015年佐賀県多久市の商店街中多久マーケットの活性化に携わり、1年間で店舗数50%増を達成
- ・2016年～現在 総務省テレワークマネージャーの委嘱による派遣実績116団体。テレワークのトライアル実施などに導く
- ・2017年～現在 キャリアシフト株式会社創設。より多くの自治体、企業に向けて働き方改革支援・テレワーク導入支援を行うだけでなく、地方創生にも力を入れている。

SNSをシティプロモーション・移住施策に結び付けた「津山市SNS合戦」、若者をはじめ住民のニーズを引き出し、課題解決していく「境町街なか賑わい事業」、テレワークや移住を目指す「中津市テレワーク推進協議会」ほか、地方自治体のアドバイザー業務に携わっている